

2月8日に第1回臨時会が開かれ、住民生活に光をそそぐ基金条例の制定と一般会計補正予算を審議し、ともに原案のとおり可決しました。

3月7日からは第1回定例会が開かれ、人権擁護委員の推薦1件、条例の改廃6件、公の施設に係る指定管理者の指定1件、予算15件、副町長の選任1件の24議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、昨年の6月定例会において産業建設常任委員会に付託され、継続審査となっていた「最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書」の提出を求める請願は、委員会の審査結果と同じく、賛成少数により「不採択」と決定しました。

一般質問は、10議員が行い、町執行部の取り組み等を問いました。

こんなこと 決まりました



第1回臨時会

●住民生活に光をそそぐ基金条例の制定

国が緊急総合経済対策として創設した「地域活性化交付金」のうち、「住民生活に光をそそぐ交付金」として交付されるものの一部を基金として積み立て、平成23年度以降の地方単独事業に充当するために基金条例を制定するものです。

この基金は、これまで光が十分に当てられなかった分野への取り組み強化を図るために活用されるものであり、平成23年度のバイオセンター研究員の給与費に充当する予

定です。

(賛成全員)

●平成22年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出予算にそれぞれ3億2271万円を追加し、補正後の額を104億2530万3千円とするものです。

●補正の主な内容は、国が緊急総合経済対策とし

て創設した「地域活性化交付金」のうち、「きめ細

かな交付金事業」として

2億4757万5千円を計上し、学校施設の空調

工事、かわべテニス公園

の改修工事、消防ポンプ

車購入、診療所における

エコー装置購入などを行

うもの、そして同じく「地

域活性化交付金」のうち、

「住民生活に光をそそぐ

交付金事業」として29

70万円を計上し、学校

図書の実質や公民館の図

書管理システムの導入な

どを行うものです。

また、子宮頸がん等の

予防接種に係る委託料と

して81万6千円、中津小

学校の教室増築工事とし

て2773万1千円を計

上することなどです。

(賛成全員)

第1回定例会

●人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

引き続き、柿本章夫さん(早藤)の推薦に同意

しました。

(賛成全員)

●へき地保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正

現在18階層の徴収基準

を国の徴収基準である8階層に調整し、国の徴収基準額の70パーセント程度に見直す必要があるた



バイオセンター中津

め、3つの普通保育所と
まだ相当な開きのある寒
川保育園の保育料を引き
上げるものです。

保護者の負担が急激に
増えるのを抑えるため平
成25年度までの3カ年を
かけて改正します。

(賛成多数)

●川辺国民健康保険税
例の廃止

4月1日に国民健康保
険事業が町として一つに
統合され、日高川町国民
健康保険として新たにス
タートすることに伴い、
川辺国民健康保険条例
を廃止するものです。

(賛成全員)

●日高川町国民健康保
険条例の一部改正

国民健康保険事業統合
に伴い、条例の一部を改
正するものです。

主な改正内容は、新た
な税率が設定されること
により、旧日高川国保の
被保険者の税負担が急激
に増えないように2年間
緩和措置を講じるもので

す。

その財源は、日高川国
保の基金を充て、平成23
年度は均等割額を1人当
たり7千円減額、平成24
年度は4千円を減額する
ものです。

(賛成全員)

●日高川町国民健康保
険条例の一部改正

国民健康保険事業統合
に伴い、国保運営協議会
委員を2名から3名に増
員するなどの所要の改正
に加え、暫定措置であつ
た39万円の出産育児一時
金を恒久化するものです。

(賛成全員)

●特別会計条例の一部改
正

御坊市外3ヶ町国民健
康保険事務組合の解散に
伴い、川辺国民健康保険
事業特別会計が廃止され
ます。

また、老人保健事業特
別会計については、平成
22年度をもって廃止され
ますが、出納閉鎖の關係
で平成23年5月31日まで

存続します。

(賛成全員)

●かわベテニス公園条例
の一部改正

太陽光発電設備の設置
に伴い、パターゴルフ場
を撤去したため、当公園
の施設から削除するもの
です。

(賛成全員)

●公の施設に係る指定管
理者の指定

町とふるさと振興公社
との間で締結している川
辺天文公園など26施設の
指定管理委託契約が3月
31日で期間満了となるこ
とから、1年間契約期間
を延長するものです。

なお、この26施設の一
部を民間へ管理委託する
ことが計られています。

(賛成多数)

●平成22年度一般会計補正
予算(第6号)

歳入歳出予算にそれぞ
れ1億3385万4千円
を追加し、補正後の額を
105億5915万7千
円とするものです。

補正の主な内容は、歳
入としては、地方交付税

8543万8千円の追加
計上や過疎地域自立促進
特別事業債1億520万
円をソフト事業分として
借り入れ、コミュニティ
バス運行事業や子ども医
療費等に充当するもので
す。

歳出としては、後年度
負担を考慮し、前述の過
疎地域自立促進特別事業
債と同額を減債基金に積
み立てすることや決算見
込みによる余剰財源1億
870万8千円を財政調
整基金に積み立てるもの
です。

また、「きめ細かな交付
金事業」や「住民生活に
光をそそぐ交付金事業」
等6事業を工期や国庫補
助金の交付決定の遅れ等
の関係で23年度に繰り越
しするものです。

(賛成全員)

●後期高齢者医療特別会
計補正予算(第1号)

歳入歳出予算にそれぞ



早蘇簡易水道施設工事

れ191万7千円を追加
し、補正後の額を2億3
744万9千円とするも
のです。

21年度療養給付費の精
算に伴う町負担分191
万7千円を計上するもの
です。

(賛成全員)

●介護保険事業特別会計
補正予算(第2号)

歳入歳出予算からそれ

ぞれ1639万1千円を
減額し、補正後の額を11
億1117万円とするも
のです。

22年度の精算を見込み、
介護給付費等所要の補正
を行うものです。

(賛成全員)

●簡易水道事業特別会計
補正予算(第3号)

歳入歳出予算にそれぞ
れ162万8千円を追加

し、補正後の額を5億2151万6千円とするものです。

消費税還付に伴い、それら余剰金162万8千円を当事業の基金に積み立てるものです。

また、債務負担行為補正として、早蘇簡易水道施設統合整備事業の限度額を1億9200万円から9900万円に変更することや繰越明許費として、川中簡易水道施設統合整備事業480万円を設定するものです。

(賛成全員)

●平成23年度一般会計当初予算

予算総額88億6200万円、昨年度当初予算に比べ2億1500万円、2.4%の減となっています。合併後初めて90億円を切る予算規模となっており、経常経費の抑制を行い、将来の財政負担に配慮しつつ、普通建設事業費を12億8千万円

ています。

歳出の主なものは、中

津・美山両支所周辺整備計画委託料70万円、道成寺周辺社会資本整備計画策定業務委託料300万円、過疎集落に対する元気な集落づくり推進事業助成金100万円、浄化槽設置整備事業補助金2885万2千円、有害鳥獣捕獲報償費1435万円、鳥獣害防止のための捕獲オリ84基の購入840万円、ジビエの普及や販売促進などの経費33万4千円、道路新設改良費として町道大又岡本線、町道土生吹上線の改良工事等5億1750万4千円、三百瀬小学校や丹生中学校等のトイレ改修工事400万円、後年度負担を考慮して過疎地域自立促進特別事業債の約8割に当たる9050万円を減債基金に積み立てるものなどです。

また歳入の主なものは、地方交付税50億円、携帯



町道大又岡本線

電話伝送路通信事業者負担金147万2千円、各種ハード事業実施のための起債のほかに臨時財政対策債3億2200万円、過疎地域自立促進特別事業債1億1450万円、

また各補助事業における国・県からの補助金を計

上するものなどです。

(賛成多数)

●笠松農業用水及び公共用水管理運営特別会計当初予算

予算総額215万6千円です。管理に要する経費等を計上するものです。

(賛成全員)

●国民健康保険事業特別会計当初予算

予算総額13億5050万円です。23年度から町として国民健康保険事業が統合されることに伴い、対前年度比で約2.3倍、7億5350万円増の予算規模です。

なお、当国保事業の統合に伴い、一般会計から国保運営費として7600万円を繰入れし、財政調整基金から税の軽減策としての1千万円に加え、財源調整分と併せて5920万円の繰入れをします。

(賛成全員)

●国民健康保険事業川上診療所特別会計当初予算

予算総額は1億円です。昨年より55万3千円減となっています。

(賛成全員)

●国民健康保険事業寒川診療所特別会計当初予算

予算総額は7423万円です。昨年より1005万9千円減となっています。

ます。

県から派遣されている福地医師が3月末で退任され、4月から宮本医師が着任します。

(賛成全員)

●後期高齢者医療特別会計当初予算

予算総額は2億3800万円です。

推計被保険者を2010人として保険料徴収事務費と後期高齢者医療広域連合に対する各種納付金を計上しています。

(賛成多数)

●介護保険事業特別会計当初予算

予算総額は11億3789万5千円です。

第1号被保険者3328人に対する給付費や保険料等各費目について、平成22年度精算見込みを勘案し、計上しています。

なお、財源不足分1476万円については、県の財政安定化基金を借り入れて対応します。

(賛成多数)

●簡易水道事業特別会計当初予算

予算総額は4億4032万6千円です。昨年より5560万7千円減となっています。

主な内容は、22年度に引き続き、早蘇簡易水道施設統合整備に要する経費1億352万4千円、その他配水管移設工事関連で5078万円を計上しています。

(賛成全員)

●下水道事業特別会計当初予算

予算総額は2億8384万2千円です。昨年より588万6千円増となっています。

維持管理に要する経費等のほか、下水道管移設補償関連経費を計上しています。

(賛成全員)

●川上財産区特別会計当初予算

予算総額は46万1千円です。財産区の管理に要する

事務経費等を計上しています。

(賛成全員)

●寒川財産区特別会計当初予算

予算総額は66万円です。財産区の管理に要する事務経費等を計上しています。

(賛成全員)

●副町長の選任

旧町村意識にとらわれず、地域を超越した感覚での行政を推進し、地方自治行政の強化と充実を図り、町長がめざす民間感覚での行政運営をさらに進めていくために、県職員である松尾孝志氏を副町長に選任するものです。

(全員同意)



第1回臨時議会



こんな

問答

ありました。

住民に光をそそぐ基金
条例の制定について

問 光が十分にあてられなかった分野とはどんなものがあるのか。

答 消費者相談、自殺対策、図書室の充実などとなっている。

問 バイオセンターの給与費は光のあたっていない分野と言えるのか。

答 「知の地域づくり」として、研究の契機になればと考えている。

22年度一般会計補正予算(第5号)について

問 美山中、早蘇中、川辺西小、中津小の普通

教室に空調設備を整備するようだが、今後、他の学校への空調整備は計画しないのか。

答 すでに、丹生中、中津中は整備している。あと小学校の小規模校が残っている。教室の使い方が複雑になっており、検討を要する。

問 公民館図書管理システムとは、3カ所の公民館の図書を全て管理できるのか。外部のパソコンから新しい図書の情報がアクセスできるものか。

答 3つの公民館に業務端末とレシートプリンタを設置する。3つの公民館で借りた本なら、3つの公民館のどこへでも

返すことができる。蔵書や貸し出しの情報

も各公民館で見られる。ただ、外部のパソコンからの直接予約については問題も想定されるので実施は未定だ。

問 子宮頸ガン予防接種はどの年齢が対象か。

答 国の基準で対象が中学校1年生から高校1



川辺公民館